心理測定法

［講義］　第１学年　後期　必修　1単位

《担当者名》橋本竜作　hashi-ryu@hoku-iryo-u.ac.jp

【概　要】
　ひとの感覚や主観的判断など心理的な内容を測るために、多くの測定法が開発されている。この科目は感覚・知覚に関する心理物理学的測定法、心理学的な概念を測定するための尺度構成法を学ぶ。また新たな尺度を作成する上で、基礎となるテスト理論を学び、データ収集をする種々の調査法とデータ解析法も学ぶ。

【学修目標】
一般目標：
　言語聴覚障害および言語聴覚臨床について学修する上で基礎となる心理学的測定法に関する知識を修得する。
行動目標：
（１）心理測定の基本的な概念と方法を説明できる。
（２）心理物理学的測定法について説明できる。
（３）尺度水準と尺度構成法について説明できる。
（４）尺度の作成過程とテスト理論を説明できる。
（５）様々な調査法について説明できる。
（６）得たデータの整理と解析方法を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	心理物理学的測定法	様々な閾値の測定法と誤差について学ぶ。 （調整法、極限法、恒常法、適応法（上下法）、ME法、MP法）	橋本竜作
2	尺度構成法	様々な尺度とその具体例を学ぶ。 尺度水準と方法（評定法、順位法、一対比較法、SD法など）	橋本竜作
3・4	テスト理論	信頼性と妥当性、項目分析ついて学ぶ。 測定と誤差、標準得点ついて学ぶ。	橋本竜作
5・6	調査法	様々なデータ収集方法ついて学ぶ。 （観察法、面接法、質問紙法、検査法、実験法）	橋本竜作
7・8	データ解析法	サンプリング、記述統計と推測統計ついて学ぶ。	橋本竜作

【授業実施形態】
遠隔授業
※授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】
小テスト20%　定期試験80%

【教科書】
山田弘幸　編　「 言語聴覚士のための 心理学」 第2版　医歯薬出版　2020年

【備考】
教科書は「学習・認知心理学」と共通です。

【学修の準備】
予習は教科書の関連する章・節を熟読しておくこと（80分）
復習は単元毎の小テストに回答し、専門用語の意味を理解・暗記すること（80分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】
（DP2）言語聴覚療法に必要な基礎的専門知識と技術を修得し、科学的思考のもと実践する能力を身につけている。

【実務経験】
公認心理師

【その他】
この科目は主要授業科目に設定している